

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12040010

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12 学校教育の充実	事業優先度	B	
単位施策	2 小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	学校給食センター調理業務委託事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	衛生的で安定した給食供給の維持	関係課	#N/A	
事業目標	正規調理員数5人	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計画 内容	●衛生的で安定した給食の供給 給食調理業務の委託	給食調理業務の委託 (長期継続契約2年度目)	給食調理業務の委託 (長期継続契約最終年度)	給食調理業務の委託 (長期継続契約の更新 3年間)	給食調理業務の委託	給食調理業務の委託 (長期継続契約最終年度)
	事業費(千円)	81,651	13,734	14,127	17,930	17,930
計画 事業費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	81,651	13,734	14,127	17,930	17,930	
実績 事業費	事業費(千円)	27,860	13,734	14,126	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	27,860	13,734	14,126			
関連 事項	特定財源の名称	(実施内容等) 給食調理	(実施内容等) 給食調理	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】					
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 正規調理員数5人	年度目標値 正規調理員数5人	年度目標値 正規調理員数5人	年度目標値 正規調理員数5人	年度目標値 正規調理員数5人
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 100%	年度達成率 100%	年度達成率 0%	年度達成率 0%	年度達成率 0%
	全体達成率 17%	全体達成率 34%	全体達成率 34%	全体達成率 34%	全体達成率 34%	
	事業進捗状況 ☆☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆			

事業名	学校給食センター調理業務委託事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋朗
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課長補佐	石山 英伸

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内小中学校に在籍する児童・生徒及び教職員等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	学校給食衛生管理基準に基づく安全・安心な学校給食の提供								
【抱える課題やニーズは】	正規調理員の恒久的な確保と、学校給食衛生管理基準に基づく安全・安心な学校給食の提供	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	熟練した正規調理員が恒久的に確保され、衛生管理や調理作業の効率化等において専門的なノウハウが活かされた学校給食の提供体制の確立。	① 正規調理員の数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>5人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>5人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値	5人	実績値	5人	達成度	100.0%
目標年度	平成26年度										
目標値	5人										
実績値	5人										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	学校給食衛生管理基準の遵守による安全・安心な学校給食の提供を実現することにより給食の質の向上を図り、食育を推進することで児童・生徒等の心身の健全な発達に寄与する。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成26年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	調理業務の民間委託	町外調理事業者との委託契約(長期継続契約)により、調理業務を遂行した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	学校給食は、学校設置者の責任において実施すべき性格を有し、また、食育基本法や学校給食法により、給食を教材のひとつとした食育指導が求められることから、行政が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	調理業務に民間のノウハウや専門性、柔軟性を取り入れることにより衛生管理の充実や給食の質の向上が図られ、期待した効果が得られている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	長期継続契約に基づく委託コストにより業務が遂行されており、正規調理員も確保できていることから効率性は保たれている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町内小中学校の児童・生徒を対象に安全・安心な学校給食が提供されており、児童・生徒の心身の健全な発達に寄与していることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
調理業務の民間委託により、衛生管理や調理作業の効率性が向上し、適正なコストで安全・安心な学校給食を提供する体制が構築された。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
児童生徒数が減少傾向にあり、将来的には事業規模の変動も予想されるが、給食の安定的な提供体制を維持するため、引き続き調理業務を民間委託する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 休止 廃止